



2024
Vol.231

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。



いきいき シニアライフ ～あなたの生きがいを教えてください！～

人生 100 年時代と言われる今、いつまでも健康でいきいきとした生活を送りたいものです。諫早市の皆さんに「生きがい」を教えてください。趣味やボランティアなど自分なりの人生の楽しみ方を見つけていらっしゃいました。今号は諫早市社会福祉協議会が運営している上山荘について特集します。高齢者の生きがいや学びの拠点として上山荘をお役立てください！

おしらせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右の二次元コードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。

採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは 吉田 薫 さん、文字は えり さん に書いていただきました。

ありがとうございます。



元気に
自分らしく!

あなたの生きがい 教えてください in 上山荘

仲間との出会いが生きがいに 大正琴講座

大正琴の魅力は、「他の楽器と比べて比較的やさしく弾け、音が優しくバラエティに富んだ音楽を奏でられ、奥が深いこと」と講師の堀真由美先生。

この優しい音色を奏でるために集まった生徒さんたちは、「大正琴に来て、先生や仲間と出会ったことが生きがい」と口を揃えて話されます。

長年通われている生徒の一人は、「大正琴も楽しいですが、みんなで冗談を言って笑ったり、時には悩みを相談したりすることも楽しみ。おしゃべりする雰囲気がとても良くて、元気になって帰っています」と講座に通うことが楽しみになっているようです。

今は、10月の演奏会や12月の歳末たすけあい演芸大会に向け、練習を頑張っている真っ最中とのこと。

上山荘で毎週行われている大正琴講座は、優しい音色と皆さんの笑顔で溢れています。



生徒募集中!

【大正琴講座】

毎週水曜日 10時～15時 ※5週目は休み

上山荘を利用し毎日が楽しい!

上山荘をいつも利用しているお二人に「生きがい」をお伺いしました!



上山荘を利用して20年。私の生きがいは、「唄うこと」。仲間と一緒にしゃべりをして、大好きなカラオケで歌っています。92歳の私は、上山荘に来ることが毎日の楽しみであり、元気の源となっています!



定年後から約10年間、毎日上山荘を利用しています。私の生きがいは、「友人と話すこと」。上山荘でできた仲間も多く、一緒に話をして楽しんでいます。また、お風呂に入ってテレビを見てゆっくり過ごすこともあります。ここは、私にとって最高の遊び場です!

上山荘 をご利用ください!

- 利用条件 おおむね60歳以上の市民
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 入館料 160円
- 休館日 日曜・祝日・年末年始



無料巡回バスをご利用ください
市役所前バス停、社会福祉会館を
経由しています。

大浴場やカラオケタイム、無料マッサージチェアなどがあり、毎日たくさんの来館者で賑わっています。

《教養講座一覧》

俳句	手芸	陶芸	舞踏	筆ペン 実用書道	囲碁	社交ダンス
将棋	昭和歌謡	太極拳	大正琴	ヨガ	健康体操	道しるべ (音楽・相談・体操)

■ 問い合わせ先 /

上山荘 ☎23-2488
諫早市社協 ☎24-5100

※バス時刻表、教養講座日時など掲載しています→



あなたのしあわせは?

「大好きなケーキをいっぱい食べたとき」 吉田 薫さん

報告

共に生きる力を育む福祉体験学習 を目指して

～令和6年度
福祉体験学習サポーター研修会開催～

地域で自分らしく安心して暮らし続けるためには、互いに理解し、支え合うことが重要です。本会では、その意識を育むため、学校や企業などに出向いて「福祉体験学習」を実施しています。

8月23日には、福祉体験学習をサポートいただいているボランティアを対象に、諫早市教育委員会の先生を講師に迎え、研修会を開催しました。研修では、学校が福祉体験学習に取り組む目的や、児童生徒への効果的な関わり方について学びました。例えば、子どもたちがつまずいた時には一旦見守り、子どもたち自身が意思決定し、仲間と共に解決を目指す過程を大切にすることの重要性を教えていただきました。

今後も、子どもたちの“共に生きる力”を育むため、学校と連携しながら福祉教育に力を入れていきたいと考えています。



▲サポーターさんから活発な意見交換も行われました

報告

中学生が職場体験をしました！

～笑顔あふれる交流～

9月26日～27日、諫早中学校の生徒が進路を考えるきっかけとして、諫早市社会福祉協議会で職場体験をしました。1日目は上山荘にて、2日目は子育てサロンやふれあいいきいきサロンで地域の皆さんと交流し、福祉に携わる仕事を体験してもらいました。

今回の体験を通じて、生徒のお二人は、「地域の人とたくさん関わることができて楽しかった」「普段できない体験ができて良かった」と笑顔で話し、住民とふれあうことで、助け合いにつながる、地域福祉活動の楽しさを感じてもらいました。



▲赤ちゃんとのふれあい



▲レクリエーションで参加者も笑顔に

報告

小さな善意 大きな変化

～プルタブ回収に
ご協力ありがとうございます～

令和5年度に地域の皆様からお寄せいただいたプルタブの総量は、なんと880kg！金額にすると53,680円でした。プルタブは、リサイクル業者にて換金し、車いすの購入費や地域福祉事業の財源に活用します。

また、購入した車いすは、市民への貸し出しや、福祉体験学習にも使用しています。皆様の善意が形あるものになります。今後も引き続きご協力よろしくお願いします。



お知らせ

諫早市ボランティア連絡協議会 パネル展 in 図書館

市内で活躍しているボランティア団体の活動を紹介するパネル展を開催します。

日時 11月7日(木)～11月12日(火)

※11月11日(月)休館

場所 諫早図書館 展示ホール

入場料 無料

主催 諫早市ボランティア連絡協議会

■問い合わせ先／諫早市社会福祉協議会

☎24-5100

感謝の気持ちを一言！

「ありがとう」 えりさん

※地区社協とは、おおむね小学校校区を単位とし、地域やその住民が抱えている課題を発見し地域でその解決に向けて取り組んでいくための住民組織です。

地区社協情報便

第130号

小長井地区社会福祉協議会

みんなで支え合い
住みよいまちづくり

小長井町は、多良岳山麓から有明海に扇状に広がる緩やかな丘陵地で、穏やかな田園風景と海岸沿いに鉄道・国道が走っています。フルーツバス停が心を和ませ、静かな海と雄大な雲仙岳を望める風光明媚なところです。しかしながら、県境というハンデを抱えているため、公共交通が非常に不便だということから人口減少が進み、現在4,440人で65歳以上の割合は44%と増え続けています。

「こながい支えあいの会」発足

小長井は食品を扱う店が減りタクシーも無くなり、住民の中には、買い物や通院に不便を感じている人が多くいらつやいます。これらを課題として「語らん場」で話し合ってきた結果、ひとり暮らしで身体が弱って、日常生活に困っている人を「地域のみんなで支え合う仕組みづくりが必要だ」ということで2023年11月に「こながい支えあいの会」を立ち上げました。現在、ボランティア97名、利用件数は45件で、主に支援内容は「移動支援」と「庭の草取り」などです。

地域公共交通再編実証プロジェクト事業

一方、今年6月の定例市議会において、小長井地域におけるボランティアによる車での送迎などの実証運行事業が承認されました。「支えあいの会」に軽自動車2台分の車両購入費及び維持費が助成されます。

■執筆 会長 徳永 秋男

■令和6年度に取り組む事業

- ・ふれあいいきいきサロン（16か所）
- ・世代間交流事業
- ・ひとり暮らし高齢者の集い
- ・福祉協力員設置事業
- ・「こながい支えあいの会」への支援
- ・広報誌「こながい地区社協だより」発行（1回）

「支えあいの会」の移動支援は自家用車使用で、保険は個人の加入する保険で対応してきましたが、これで安心して活動できます。これからも小長井地区社協は、「高齢者が困り事を気軽に相談できる、みんなで支え合うまちづくり」を目指していきます。



▲ひとり暮らし高齢者の集いの様子



▲「こながい支えあいの会」活動の様子



▲星空もとても綺麗です



LINE



Facebook



声の「かんしゃ」お届けします

目の不自由な人にCDに録音した、広報紙を無料でご自宅までお届けします。ご希望の方は下記までお問合せください。

編集
発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
ホームページ <https://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

ご寄附ありがとうございました

ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

令和6年9月1日～9月30日受付分

🏠香典返し ▶問田 常明様（森山町）【亡妻 亨子様】

11月のふれあい福祉相談

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料専門相談	開設日	11月22日(金) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。